

令和6年度 ひびきあい集会 から

11月29日、全校生徒が体育館に参集して『ひびきあい集会』を実施しました。

今回の講師は、東濃中部医療センター土岐市立総合病院 産婦人科の青山 航也先生です。演題は『他人を批判するより自分を高めよう』でした。

講話の内容としては、2011年に起きた石川県での事故についてのことをきっかけとして、世の中に蔓延する『他者批判』、そして『いじめ』の原因とそれに類する行為について、多様性の尊重について、プライバシーの保護について、「老害」について、と幅広い角度から、人権に関わる話をうかがいました。

全てとは言いません。どこかに自分の姿を振り返る、自分の考えがもてる、ワードや内容があったら、今回の講話に意味が出てきます。



◇今日分かったことは、周りに合わせてしまい、笑ってしまうというところで、確かに私も、今笑う場面ではないなと思った時ほど周りに合わせるがよくあると思いました。これからは、笑う場面と笑わない場面での切り替えができるようになりたいです。

(1年 宮地 結衣さん)

◇私が今日感じたことは、人は1人1人違うからこそ、それを大切にしなければいけないということです。今回のお話の中で私が当てはまるなと思ったこともありました。けれど、それはいけないことだとも分かりました。人は1人1人違うからこそ良いところもあれば悪いところ、周りから見たらおかしいと思うところもあります。私は悪いところばかりに目を向けるのではなく、良いところにも目を向けていきたいと思いました。(2年 水野 来海さん)

◇悪口・影口はよくないことを再確認しました。悪口や陰口、いじめなどは、自分に自身がなくてしてしまうことを教わりました。自分も、自分に自信がなくて、相手の欠点などを見つけようとしていた時がありました。この講話を聴いて、僕はこれから人がどうこう関係なく、自分自身と向き合い、自分を高めていきたいと思いました。

(3年 中島 陸翔さん)